

# 申5号 2019年度冬期対策に関する申し入れ提出!

2019年度冬期対策について10月28日会社に提出しました。昨冬は比較的落ち着いた降積雪でしたが、現場では対応に苦慮しました。各職場から出された声を基に安全・健康・働きがいの観点から全13項目を申し入れました。申し入れ内容は下記の通りです。

## 【共通】

1. 701系および751系車両は走行中にドアの隙間から雪が入り込み車内温度が低下するため、原因を明らかにし解消に向けた対策を講じること。
2. ホームが凍結する恐れのある箇所について対策を講じること。また、雨垂れが発生する箇所を調査し修繕すること。

## 【県南地区関連】

1. 田沢湖駅は巡回除雪やホーム除雪を行うことでお客さまの安全と輸送の安定性を確保してきたことから、これまで通りの冬期体制とすること。
2. 昨年度の冬期では、423Mにお客さま乗車後、輸送指令より除雪作業のため数時間遅れる旨の連絡があったことからお客さまを降車させる等の案内を行った。そのため連絡体制を徹底し、早目の運行判断を行うこと。

## 【中央地区関連】

1. 土崎駅構内の入換信号機14Lは着雪により確認ができなくなるため、着雪防止のカバーを取り付けること。
2. 車掌用停止位置目標が雪で隠れ前後方の車両確認が困難な状況もあることから、大曲駅・角館駅(下)・田沢湖駅の新幹線ホームの車掌用停止位置目標を見えやすい位置にするなど工夫をすること。
3. 男鹿線回8144Dおよび回8121Dは冬期運用となるが、男鹿駅が新しくない環境が変化していることから実態を把握し運用を見直すこと。
4. 秋田車両センターでは洗浄線の在線時間が輻輳し十分な除融雪対応が出来ない為、作業できる在線時間を確実に確保できる車両運用とすること。

## 【県北地区関連】

1. 東能代運輸区からホームまでの指定通路が凍結するため、傷害事故防止の観点から対策を講じること。
2. 昨年度、上り列車が碓ヶ関駅中線から進出する際にホーム上の雪の雪庇と衝撃する事象があった為、線路側に除雪した雪がはみ出ないように対策を講じること。

## 【津軽地区関連】

1. 弘前駅構内上り2番線は軌間内に雪が溜まり起動できないことが多いことから、融雪マットを設置すること。
2. 昨年度、津軽新城駅上り1番線で抱き込みが発生したため、機械除雪を行うこと。
3. 鱒ヶ沢駅構内および深浦駅構内の指定通路が入換開始前までに除雪されていないことが多いため、除雪体制を検討し関係箇所と調整すること。

# 団体交渉を通じて職場の声を実現しよう!